

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		下水道事業会計 [水質検査業務]						
予算科目	款 1	下水道事業費用	項 1	営業費用	目 1	管渠費	事業番号	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	下水道課 庶務係			課長名	廣瀬 裕			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	4 - 1		
【施策名】 市街地の整備					総合計画書(ページ)	83		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	特定事業場等 →			①特定事業場 56事業場 ②流域下水道接続点 11箇所				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
基準に適合した汚水を排水し、公共下水道に負担を与えない →			基準達成回数 66/70回					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
水質検査			19箇所 延べ70回実施 →					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	箇所	①64 ②11	①57 ②11	①56 ②11		
	成果指標	②の数値	%	98.0	98.5	94.3		
	目標	②の目標値	%	100	100	100		
		目標値設定の考え方 法令等遵守						
活動指標	③の数値	箇所	61	60	70			
3 経費	事業費(実績)		円	1,177,765	1,172,979	1,144,065	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円			0		
		特定財源(国・都・他)	円	1,177,765	1,172,979	1,144,065		
		(うち受益者負担)	円			0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	56.0	40.0	40.0		
		所要人数(再任用)	人					
		職員人件費(再任用以外)	円	240,800	172,000	168,000		
職員人件費(再任用)	円							
事業費+人件費		円	1,418,565	1,344,979	1,312,065			
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和60 年度						
	(2) 環境の変化	①当初の検査箇所は、汚水幹線や水再生センターなど下水道施設の機能維持と施設の保全のため、流域下水道の接続点のみであった。 ②平成元年度からは、公共用水域の保全のため、水再生センターで処理することが困難な物質等の規制のため、特定事業場についても検査を実施。 ③また、平成13年度からは、荒川右岸東京流域下水道の流域9市と共同で東京都下水道局へ委託し、実施している。						

事業名称	下水道事業会計 [水質検査業務]			
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係 課長名

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	引き続き事業場等に対する水質保全及び基準順守に向けた啓発。また、各事業場の水質管理責任者との連携。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	基準値を上回る排水をした特定事業場に対し、事情聴取及び再発防止を指導した。			
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	引き続き事業場等に対する水質保全及び基準順守に向けた啓発。また、各事業場の水質管理責任者との連携。			
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 市街地の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 基準値を上回る悪質下水や有害物質等が下水道へ流入すると、下水道施設を腐食損傷させ、下水処理機能を妨害する。また、下水道施設の維持管理に携わる作業者の安全確保に影響を与えることになるため、事業の継続が重要である。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			